

2008年6月

各 位

検定意見の撤回を求める会・関西
代表 垣沼 陽輔

高校歴史教科書検定意見の撤回を求める請願署名のお願い

日頃の皆様のご活躍に敬意を表します。

さて、私たち検定意見の撤回を求める会・関西は、07年3月に文部科学省が行った検定意見の撤回を求めて請願署名の取り組みをすすめています。

07年3月文部科学省の教科書検定審議会が、検定意見を公表しました。2008年から使用される高校日本史教科書に、1945年3月末から4月太平洋戦争末期の沖縄戦で住民による「集団自決」の記述で「誤解をする恐れのある表現がある」という理由を付けて、日本軍による命令・強制・誘導などの表現を削除・修正させました。

沖縄県では、この検定意見にたいして昨年9月、11万人余りが参加する県民集会が開催され、文科省へ検定意見の撤回を求める決議を行いました。

私たちは沖縄県の闘いを支持する立場から、高校歴史教科書検定意見の撤回を求める運動を広げていく取り組みをすすめ、昨年12月から各職場や地域で沖縄戦の体験者ビデオ上映学習会を行い、3月には沖縄県現地への調査団を派遣し「集団自決」がどのようなことであったのかを直接確かめました。また4月13日には、エルシアターで映画「月桃の花」上映会とシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、当時の安倍内閣が、「集団自決」記述の修正と削除を文科省に行わせた背景には、日米軍事同盟の強化、憲法改悪、自衛隊の軍への昇格など日本を戦争の出来る国へと大きく右旋回する動きに連動していたことが明らかになりました。

私たちは文科省にたいして、沖縄戦での「集団自決」という歴史的史実を正しく伝え、日本軍による命令・強制・誘導などの表現を修正・削除させた検定意見の撤回を実現するため、下記の取り組みをすすめていきます。

ぜひ、私たちの取り組みに賛同していただくことをお願いして要請いたします。

記

1. 内 容 文科省への「検定意見を撤回し記述の回復を求める請願書」
2. 署名方法 個人署名（1枚に11人記入）
3. 集約方法 第1次 7月31日
第2次 8月29日

※ 文科省へは、9月に東京で全国集会が開催されますので、それに併せて提出します。

4. 集約先 〒550-0021 大阪市西区川口2-4-28ユニオン会館内
連帯ユニオン近畿地本 気付
検定意見の撤回を求める会・関西 宛
TEL 06 (6383) 5549
FAX 06 (6583) 5534
担当一書記長 垣沼陽輔

[→署名用紙はこちら](#)

以 上